学校番号	1205

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校生の美術３」　（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１，２年生で培った美術制作を基本として、自己の内面に視線を注ぐことができるよう、作品の制作に取り組ませる。自ら主題を生成し、「愛着のある作品」をつくることを目標に制作をさせ、自他の作品を大切に扱える心を養う。

2　学習の到達目標

・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
・主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深める。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	・美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	自画像デッサン	「自画像」の制作 1、2年での基礎を踏まえたうえで、デッサンに取り組む。	a: 表現したいことを伝える ための素描の技能を身に付けている。 b:対象や自己の内面を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c:自己をモデルとしての表現に取り組み、制作工程に工夫をしようとする意欲がある。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	作家の生涯と作品	ピカソの生涯や作品を知り、新たな表現を追求する姿勢を感じる。ピカソの作風のひとつ「キュビズム」で絵画を描く。	a:作家の生涯を知り、キュビズムの手法を理解することかできたか。 b:キュビズムの手法を作品に生かすことができたか。 c:作品に取り組むことで作家やキュビズムに興味関心を持つことができたか。	・作品点 ・鑑賞ワークシート	・作品点 ・鑑賞ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
2学期	ポスターデザイン	環境や健康について啓発ポスターデザインに取り組み、画材・構成・レタリングを工夫し、伝わるポスターを制作する。	a:イラストレーションやレタリングを生かし、画材の使い分けができている。 b: 画材・文字を生かした構成で、工夫し伝わるデザインワークができている。 c:ポスター創作にあたり意欲的に取り組もうとしている。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
	彫塑	「手」の表現 ブロンズ粘土を使って立体造形を作成する。	a: 彫塑の技術を駆使した丁寧な作品ができている。 b:彫塑としての立体造形に工夫があり、正確なデッサン力や伸びやかな表現力が見られる。 c:自己の手をモデルとして接し、表現の工夫をしようとする意欲がある	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子
3学期	卒業制作	自ら主題を生成しキャンパスに絵画を描く。	a: 表現したいことを伝えるための技法を身に付け活かすことができる。 b:形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c:表現に取り組み、制作工程に工夫をしようとする意欲がある。	・作品点 ・ワークシート	・作品点 ・ワークシート	・学習活動の様子 ・制作の様子

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度